

木材劣化状況報告書

(株)ティ・シー・シー

木材劣化診断士

安田 年一

農林水産総合センター研修交流ホール北面外壁再塗装仕様書

1 工事概要

農林水産総合センター研修交流ホールの北面外壁（木部）の再塗装

※北面外壁面積：杉材等 約180m²

※外壁のみが施工対象であり、軒は含まない。

2 施行期間(完了日)

契約締結の日～平成31年1月31日

3 施行内容

(1) 素地調整（ペーパーケレン）：約180m²

(2) 木材保護塗装：約180m²

南面の塗装に合わせた色の塗料使用のこと。

※南面使用塗料：オスモウッドステインプロテクター #710ストーンパイン

4 その他

- ・施工前に木材劣化診断士により壁面木部の割れ・腐朽・蟻害・塗装についての診断を行い、その診断結果について報告書を提出すること。
- ・施工にあたっては、上記診断結果に基づき適切に行うこと。
- ・研修交流ホールを会議及び研修等で使用するときは、作業を制限する場合がある。
- ・施工にあたり、学生等歩行者への安全対策を万全とすること。

診断に関する情報

診 斷 日 時	30 年 10 月 25 日 11 時 30 ~ 12 時
天 候	曇り
依 頼 者	岡山県農林水産総合センター長
診 断 者	安 田 年 一
診 断 領 域	農林水産総合センター研修交流ホールの北側外壁
診 断 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 第一次診断 <input type="checkbox"/> 第二次診断 <input type="checkbox"/> その他 ()

物件の基本情報

項 目	内 容	備 考
名 称	岡山県農林水産総合センター研修交流ホール	
所 在 地	岡山県赤磐市神田沖1174-1 〒709-0801 電話: 086-955-0272 電子メール:	
建 築 年	平成23年2月	
種 别	<input checked="" type="checkbox"/> 軸組 <input type="checkbox"/> ツーバイフォー <input type="checkbox"/> その他	
施 工 業 者	ナイカイアーキット・藤原組	
規 模	<input type="checkbox"/> 平屋 <input checked="" type="checkbox"/> 2階建て <input type="checkbox"/> その他	
室 数	研修ホール及び寮	
面 積	1階(745.42m ²)2階(639.67m ²)延1,385.09m ²	
床 下 形 式	<input type="checkbox"/> 土壤現し <input type="checkbox"/> 土間コン <input checked="" type="checkbox"/> ベタ基礎	
外 壁 形 式	<input type="checkbox"/> モルタル <input type="checkbox"/> サイディング <input checked="" type="checkbox"/> その他 板張り	
屋 根 形 式	<input type="checkbox"/> 瓦 <input type="checkbox"/> スレート <input checked="" type="checkbox"/> その他 金属屋根	
バルコニー	なし	
シロアリ防除歴	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり()	未確認
改 築 履 歴	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり()	
事 前 情 報	<input checked="" type="checkbox"/> 図面 <input checked="" type="checkbox"/> その他 仕様書	
そ の 他	今回北面外壁塗装見積作業に併せて木材劣化診断士での診断が必要で実施したものです。	

劣化検出部位の症状と判定

記録番号		部位	外壁
エリア		部位詳細	
方位	北面	備考	

①腐朽症状と判定

■変色あり	■水シミあり	□菌糸様の付着物あり	□腐朽によると思われる材の破壊 (割れ、さくられ、圧壊、空洞化など)
-------	--------	------------	---------------------------------------

● 木部の湿り気(含水率)

乾燥	やや湿っている	湿っている	濡れている	含水率 未確認
----	---------	-------	-------	---------

● 打音

異常なし	異常あり	空洞化している	その他()
------	------	---------	--------

● マイナスドライバの突刺し(最大値)

10mm以下	10から30mm	30mm以上	その他
--------	----------	--------	-----

● 判定

腐朽の判定	レベル	進行性	もとめられる対応
□腐朽あり	1・2・3	進行性	経過観察・精密診断・劣化対策
□腐朽の可能性あり		備考	

②蟻害症状と判定

□材表面の蟻道・蟻土あり	□材内部の食害・蟻道あり	□穴あり	□蟻害によると思われる材の破壊 (割れ、圧壊、空洞化、欠損など)
--------------	--------------	------	-------------------------------------

● 打音

異常なし	異常あり	空洞化している	その他()
------	------	---------	--------

● マイナスドライバの突刺し(最大値)

10mm以下	10から30mm	30mm以上	その他
--------	----------	--------	-----

● 判定

蟻害の判定	レベル	進行性	もとめられる対応
□蟻害あり	1・2・3	進行性	経過観察・精密診断・劣化対策
□蟻害の可能性あり		備考	

③甲虫害症状と判定

□甲虫害と思われる穴あり 穴の径()mm	□虫粉あり	□甲虫害によると思われる材の破壊 (内部の空洞化、表層部の欠落など)
--------------------------	-------	---------------------------------------

● 打音

異常なし	異常あり	空洞化している	その他()
------	------	---------	--------

● マイナスドライバの突刺し(最大値)

10mm以下	10から30mm	30mm以上	その他
--------	----------	--------	-----

● 判定

甲虫害の判定	レベル	進行性	もとめられる対応
□甲虫害あり	1・2・3	進行性	経過観察・精密診断・劣化対策
□甲虫害の可能性あり		備考	

■調査内容

岡山県農林水産総合センター研修交流ホール北面外壁再塗装実施に伴い、現状の壁面木部に関して木部の割れ・腐朽・塗装に関する診断実施

■外壁木部の建築基準法上の位置付け

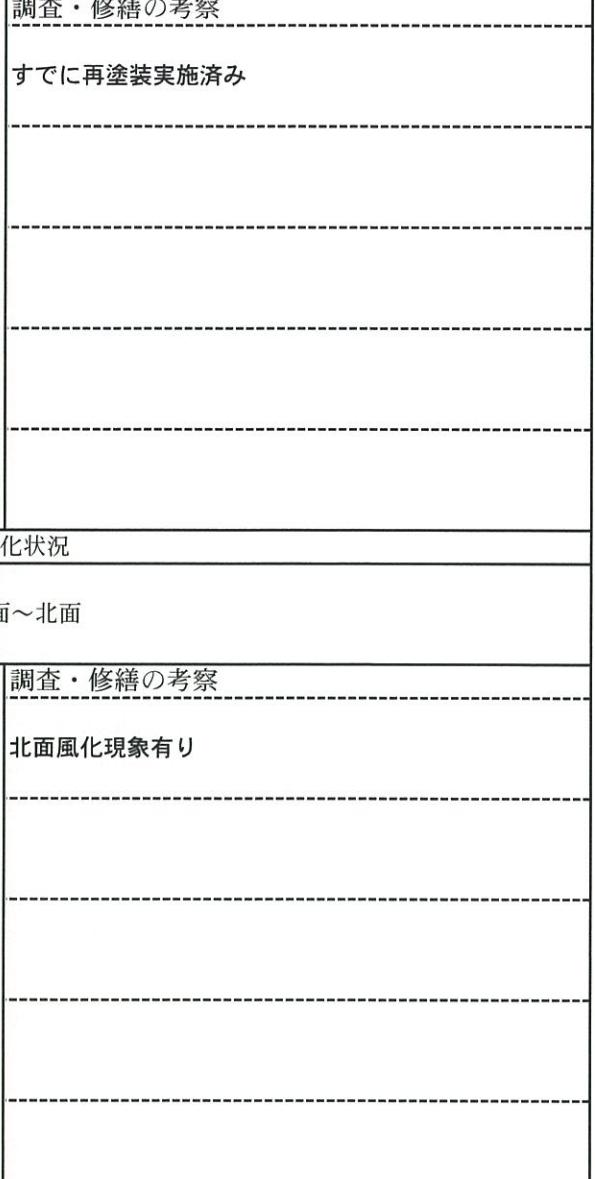
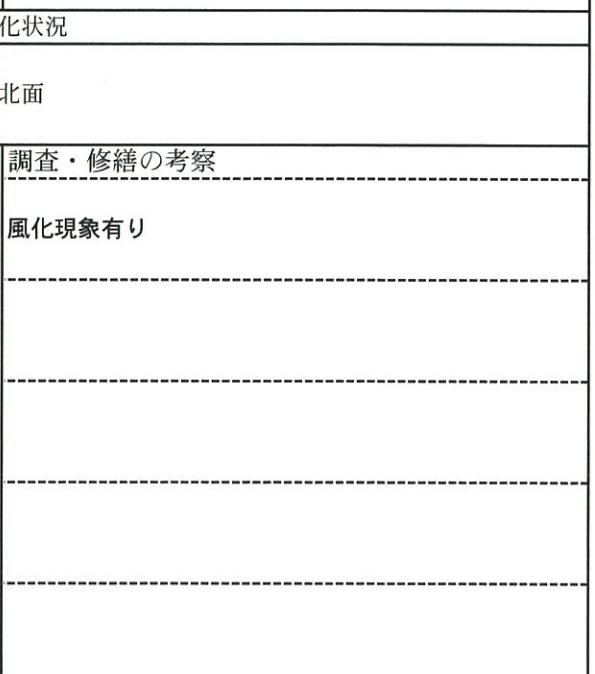
本建物は建築基準法では準耐火建物（イ準耐）の仕様規定により外部板張り部に関しては、硬質セメント板 $t=18\text{mm}$ 下地の上に透湿防水シートの上に杉板 $t=12\text{mm}$ を張ったものであり。防火性能は硬質セメント板で確保しており、防火性能及び建物構造耐力への影響はない。

■現状

平成23年2月に完成した本建物の外壁は縦張り杉板の上の硬質系の保護塗料を施している。雨、紫外線等の風化による木材劣化により木材表面はシルバーグレー色に変色しつつ有り、より紫外線の影響を受けやすい南面、東面に関しては、再塗装を行っている。

■調査

- ・木材劣化で木材強度に影響する腐朽菌、蟻害は見当たらない。
- ・風化に関しては確かに色落ち、黒点等の現象が見うけられるがこの影響が出るのは表面より 0.2mm 程度であり表面を削れば元の色が表われると推測する。
- ・ひび割れ建張り板の下部にひび割れ部位があるが貫通しているか？は確認出来ない。
腐朽につながらない処置は必要で、ケレン後、浸透系の保護を施す事で張り替えは必要ないと思われます。
- ・塗装面は硬質系の保護塗料であるので、この劣化事象からしてまずは、この硬質部の除去が必要しその上に再塗装を施す必要がありが、今後の風化による劣化事象が表われにくい浸透系で風化が目立ちにくく着色をお勧めします。

部位	写真番号	劣化状況		
		東面全景		
	1		調査・修繕の考察	すでに再塗装実施済み
	2		劣化状況	東面～北面
	3		調査・修繕の考察	北面風化現象有り

部位	写真番号 4	劣化状況	
		北面板張り下部	
		調査・修繕の考察 風化現象・黒点	
部位	写真番号 5	劣化状況	
		北面板張り下部	
		調査・修繕の考察 ひび割れ	
部位	写真番号 6	劣化状況	
		板張部	
		調査・修繕の考察 厚み t -12mm確認	

